令和２年度小林市立野尻小学校
校長室だより　　[☞ R2.4.28(火)]

力・光・誉

心を磨き　技を練り

校長　児玉善彦

令和２年度に入り、何とか学校が再開できた…と喜んだのもつかの間。再び臨時休業へと突入してしまいました。▼年度当初に開催される様々な行事等も軒並み中止となり、未だに、ほとんどの保護者の皆さんとは直接お目にかかることもなく今日に至っております。▼今日は登校日。天気もよく爽やかな朝、子ども達が元気に登校する姿はかわいらしく癒やされました。こうした日常が一日も早く戻ってほしいと切に願うばかりです。▼ところで、４月７日に配付した文書でお知らせしていますが、私も含めて６名の職員が野尻小に転入し、学校用務員２名（野尻小、野尻幼稚園、野尻中、栗須小の４校を２名で担当）も新たに加わり、今年度の「チーム野尻」がスタートしました。▼各々業務は分担していますが、必要なときには、皆で力を合わせて対応したいと考えています。１年間ご支援の程よろしくお願いします。

・・・　今年度野尻小学校に着任した職員　・・・

校長：児玉善彦（栗須小から）、教諭：志水一郎（山之口小から）、
講師：田原明子（三松小から）、講師：本田佳織（新規採用）、
主事：南﨑奈津美（紙屋中から）、
学校栄養職員：黒木香菜子（新規採用）、
学校用務員：松浦正嗣（栗須小から）、源島和則（細野中から）

【始業式：４／７（火）】

新型コロナウィルス感染症対策で、子ども達は、体操ができるくらいの隊形に広がり、早朝からの窓の開放、全員マスク着用、手指消毒等々・・・まさに厳戒態勢での始業式となりました。▼式中では、６年生の上田愛海（あいみ）さんが、新年度のスタートに当たり、また最高学年としての今後に向けて、実に見事な作文を披露してくれました。野尻にはよい子が育っていると直感しました。▼また、始業式に先立って行われた新任式では、同じく６年生の海野蒼裕（そうすけ）君が心のこもった言葉で転入職員を迎えてくれました。おかげで、気持ちのよい新年度の初日となりました。

【入学式：４／９（木）】

開催自体が危ぶまれましたが、防疫対策を万全に整え、参加する児童も６年生だけにするなど、様々な工夫をしながら行うことができました。▼１年生は皆立派に参加することができ、私たち職員も、喜びとともに、大切に育んでいかなければとの思いを強くしました。将来の野尻小を担うかわいい１年生。担任の児玉教諭の指導にしっかりと耳を傾け、目を向け、毎日、元気に小学校生活を送っています！

【「学習支援ボランティア」！】

地域の皆様には、以前から行事等、折に触れご協力いただいていますが、今年度から、主に教室で子どもたちの学習を支える「授業支援」とプリントの印刷等の学級事務を補助する「学級運営支援」の２つの面からボランティアの皆さんにご協力いただきたいと考えております。担任が子どもたちにじっくりと関わる時間を確保することが主な目的ですが、早速、始業式の日からほぼ毎日何名かずつ来校いただきました。今のところ４名の方に交代でお越しいただいていますが、協力いただける方がいらっしゃいましたら、自薦他薦どちらでも結構ですので、学校までご一報ください。

【休業中の過ごし方について】

子ども達が教室で学習し、運動場で元気に遊ぶというような「学校の日常」がいかにありがたいものであったかということを日々実感しています。もうしばらくは何かと「辛抱」の期間が続きそうですが、再び戻ってくる幸せな「日常」を思いつつ、もうひといき皆で頑張りましょう。▼感染防止のための行動はもちろんですが、４月２０日に配付した文書も参考にしていただきながら、学習面、健康面等にも十分留意いただければと考えております。

【学校からの情報発信について】

今年度も、行事予定や学校での出来事等、「野尻小学校ホームページ」に掲載しますので、是非、ご覧ください。▼また、「連絡メール」では、頻繁に必要な連絡を配信しますので、こまめに確認くださるようお願いします。

※今年の「校長室だより」のタイトルを「力・光・誉」としました。お気付きの方も多いかと思いますが、校歌の１～３番のキーワードをつなげたものです。▼先人の思いも受け継ぎつつ、必要な改革や新たな特色の創出等にも積極的に取り組んでいきたいと考えておりますので、ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願いします。